

JHL NEWS

No.12

2012年11月19日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大崎が11連勝で早々とプレーオフ進出決める

～第37回日本ハンドボールリーグ・第11週～

第37回日本ハンドボールリーグ・第11週は11月17、18日に埼玉などで男子4試合が行われ、首位の大崎電気が11連勝でプレーオフ進出を確定したほかトヨタ車体と琉球コラソンが勝利を握り、湧永製薬は豊田合成と引き分けた。

埼玉での大崎-大同特殊鋼は、東長濱らの活躍で前半9分7-3と先行した大崎が、その後も棚原、武田らで応戦する大同に対し、クイックスタートでの得点や豊田の巧打などで勢いを加速、18-10と8点差をつけて折り返した。後半も手堅いディフェンスが光る大崎が優位をキープ、8分には23-11と大きく水をあけた。大同も野村、下村らで反撃し、25分過ぎには5点差まで追い上げたが、大崎は森のポストシュートなどでこれ以上の追撃を許さず、29-23と危なげなく逃げ切った。

岐阜での合成-湧永は、合成が今村の連打で前半24分7-6とリードを奪い、この後もGK藤堂の好セーブで湧永に得点を許さず9-6と先行して前半を終えた。後半に入り、湧永は11分過ぎに樋口の速攻や東江のサイドシュート、名嘉の連続得点で14-12と形勢を逆転。一方の合成はタイムアウトを取り、野田のサイドシュートなどで同点とすると、その後は再び混戦模様に。26分過ぎに16-14とリードした湧永だったが、終盤に退場者を出すなどで引き離すことができず、合成が今村の同点打で17-17の引き分けに持ち込んだ。

山梨のトヨタ紡織九州-琉球は、上位生き残りをかけた両者の気迫が火花を散らし、息詰まる大接戦となった。前半は紡織が村上秀、藤山らで加点すれば、琉球も水野裕紀、村山らの活躍で応戦し、15-15の同点で折り返した。後半も一進一退の攻防が続き、23分過ぎに石黒、鈴木の連続退場でピンチを迎えた紡織が必死のディフェンスで琉球の攻撃を耐え忍んだ。しかし、28分に琉球・水野裕紀が両チーム最多となる8点目のゴールを決めて30-29と1点リード。紡織最後の攻撃を抑えた琉球が貴重な1勝をものにした。

宮城でのトヨタ自動車東日本-車体は、ここまで2位の車体が石戸のカットインやポストシュート、東日本のパスミスに乘じた速攻などで着実に加点して一方的な展開に持ち込み、前半で20-6と大量リードを奪った。後半に入り東日本は上野のロングシュートや桑名のサイドシュートなどで5連取し、本来の攻撃力を発揮するとともに高い位置からのディフェンスを仕掛けて懸命に戦った。試合は地力に勝る車体が余裕あふれる戦いぶりで順当勝ちしたが、東日本も後半のスコアは16-16と健闘、GK関口の好セーブが光った一戦だった。

次週は富山などで男子8試合が行われ、プレーオフ圏内の4位以下でしのぎを削る琉球、紡織、大同らの戦いぶりに注目が集まる。



④プレーオフ進出を決めた大崎電気・猪妻
⑤4位に再浮上した琉球コラソン・水野裕紀

第12週の日程

11月23日(金)	富山	氷見市ふれあいスポーツセンター(JR氷見線氷見駅徒歩30分)	14:30～	(男)	トヨタ自動車東日本 × トヨタ紡織九州
			16:30～	(男)	北陸電力 × トヨタ車体
11月24日(土)	福井	北陸電力福井体育馆フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	14:00～	(男)	北陸電力 × 湧永製薬
	沖縄	浦添市民体育馆(琉球バス「浅野浦」下車徒歩1分)	13:00～	(男)	琉球コラソン × 大崎電気
11月25日(日)	長野	千曲市戸倉体育馆(しなの鉄道戸倉駅徒歩15分)	13:00～	(男)	トヨタ車体 × トヨタ紡織九州
	沖縄	浦添市民体育馆(琉球バス「浅野浦」下車徒歩1分)	14:00～	(男)	豊田合成 × 大崎電気
			16:00～	(男)	琉球コラソン × 大同特殊鋼



得点王レースをリードする琉球コラソン・東長濱

男子個人ラシキシング 第11週終了現在

得点王

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|
| 1 東長濱秀作 (琉球コラソン) 68 点 (10試合) | 9 武田 享 (大同特殊鋼) 45点/84射0.536 | |
| 2 村山 裕次 (琉球コラソン) 61 点 (10試合) | 10 村山 裕次 (琉球コラソン) 61点/116射0.526 | |
| 3 中島晋太郎 (豊田合成) 60 点 (11試合) | 7mスロー得点 | |
| 4 渡部 仁 (トヨタ車体) 57 点 (11試合) | 1 東長濱秀希 (大崎電気) 15 点 (11試合) | |
| 5 東長濱秀希 (大崎電気) 56 点 (11試合) | 2 野村 喜亮 (大同特殊鋼) 14 点 (10試合) | |
| 5 上野 承太 (トヨタ自動車東日本) 56 点 (10試合) | 3 樋口 瞳 (湧永製薬) 13 点 (11試合) | |
| 7 鈴木 渚 (トヨタ紡織九州) 54 点 (10試合) | 3 東長濱秀作 (琉球コラソン) 13 点 (10試合) | |
| 7 赤塚 孝治 (北陸電力) 54 点 (10試合) | 5 渡部 仁 (トヨタ車体) 12 点 (11試合) | |
| 9 新 建二 (湧永製薬) 52 点 (10試合) | 5 赤塚 孝治 (北陸電力) 12 点 (10試合) | |
| 0 富田 恭介 (トヨタ車体) 51 点 (11試合) | 7 野田 祐希 (豊田合成) 9 点 (11試合) | |
| 1 宮崎 大輔 (大崎電気) 50 点 (11試合) | 8 崎前 健治 (トヨタ自動車東日本) 8 点 (10試合) | |

フィールド得点

- 1 村山 裕次 (琉球コラソン) 61 点 (10試合)
 - 2 中島晋太郎 (豊田合成) 60 点 (11試合)
 - 3 東長浜秀作 (琉球コラソン) 55 点 (10試合)
 - 4 鈴木 渚 (トヨタ紡織九州) 53 点 (10試合)
 - 5 新 建二 (湧永製薬) 52 点 (10試合)
 - 6 富田 恭介 (トヨタ車体) 51 点 (11試合)
 - 6 上野 承太 (トヨタ自動車東日本) 51 点 (10試合)
 - 8 宮崎 大輔 (大崎電気) 50 点 (11試合)
 - 9 豊田 賢治 (大崎電気) 48 点 (11試合)
 - 0 渡部 仁 (トヨタ車体) 45 点 (11試合)
 - 0 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州) 45 点 (10試合)
 - 0 武田 享 (大同特殊鋼) 45 点 (10試合)
 - 0 今村 彰伸 (豊田合成) 45 点 (11試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

- | | | | |
|---|-------|-----------|--------------|
| 1 | 富田 恭介 | (トヨタ車体) | 51点/71射0.718 |
| 2 | 新 建二 | (湧永製薬) | 52点/76射0.684 |
| 3 | 豊田 賢治 | (大崎電気) | 48点/71射0.676 |
| 4 | 渡部 仁 | (トヨタ車体) | 45点/67射0.672 |
| 5 | 鈴木 渚 | (トヨタ紡織九州) | 53点/85射0.624 |
| 6 | 中畠 嘉之 | (トヨタ紡織九州) | 45点/79射0.570 |
| 7 | 宮崎 大輔 | (大崎電気) | 50点/90射0.556 |

(※女子のランキングは第9号参照)

第37回日本ハンドボールリーグ成績表

第11週第2日終了 11月18日

順位	男子	大崎電気	トヨタ車体	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	豊田合成	北陸電力	トヨタ自動車東日本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
1	大崎電気			39 ○ 31	30 30 ○ ○ 23 27	34 ○ 19	34 ○ 29	29 29 ○ ○ 26 23	38 ○ 30	38 33 ○ ○ 24 26	41 ○ 21	11	11	0	0	22	375	279	96	
2	トヨタ車体	31 ● 39			29 ○ 26	29 27 ○ ○ 25 26	33 ○ 27	36 ○ 24	37 30 ○ ○ 30 27	37 ○ ○ 27	45 36 ○ ○ 19 22		11	10	0	1	20	370	292	78
3	湧永製薬	23 27 ● ● 30 30	26 ● ● 29		27 ○ 25	33 ○ 28	32 29 ○ ○ 27 27	30 17 ○ △ 20 17	26 ○ 22	43 ○ 26		11	7	1	3	15	313	281	32	
4	琉球コラソン	19 ● 34	25 26 ● ● 29 27	25 ● ● 27		31 30 ○ ○ 29 29	20 ○ 19	20 △ 20	25 ● 33	37 ○ 18		10	4	1	5	9	258	265	-7	
5	トヨタ紡織九州	29 ● 34	27 ● 33	28 ● 33	29 29 ● ● 31 30		21 △ 21	27 27 △ ○ 27 21	32 ○ ○ 28	38 ○ ○ 21		10	3	2	5	8	287	279	8	
6	大同特殊鋼	26 23 ● ● 29 29	24 ● ● 36	27 27 ● ● 32 29	19 ● ● 20	21 △ 21		29 ○ 24	28 ○ 21	41 ○ 22		10	3	1	6	7	265	263	2	
7	豊田合成	30 ● 38	30 27 ● ● 37 30	20 17 ● △ 30 17	20 △ 20	27 21 △ ● 27 27	24 ● 29		30 ○ 24	26 ○ 24		11	2	3	6	7	272	303	-31	
8	北陸電力	24 26 ● ● 38 33	27 ● ● 37	22 ● 26	33 ○ 25	28 ● 32	21 ● 28	24 ● 30		30 27 ● ○ 32 25		10	2	0	8	4	262	306	-44	
9	トヨタ自動車東日本	21 ● 41	19 22 ● ● 45 36	26 ● ● 43	18 ● 37	21 ● 38	22 ● 41	24 ● 26	32 25 ○ ● 30 27		10	1	0	9	2	230	364	-134		

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッスン	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	オムロン		22 22 ○ ○ 18 16	30 ○ 18	19 ○ 15	33 ○ 16	33 32 ○ ○ 16 14		7	7	0	0	14	191	113	78
2	北國銀行	18 16 ● ● 22 22		32 ○ 24	26 23 ○ ○ 25 17	36 ○ 7	33 ○ 9		7	5	0	2	10	184	126	58
3	広島メイプルレッスン	18 ● 30	24 ● 32		30 27 ○ ○ 26 22	38 32 ○ ○ 17 17	29 ○ 14		7	5	0	2	10	198	158	40
4	ソニーセミコンダクタ	15 ● 19	25 17 ● ● 26 23	26 22 ● ● 30 27		25 ○ 16	29 ○ 17		7	2	0	5	4	159	158	1
5	三重バイオレットアイリス	16 ● 33	7 ● 36	17 17 ● ● 38 32	16 ● 25		23 20 ○ ○ 16 14		7	2	0	5	4	116	194	-78
6	HC名古屋	16 14 ● ● 33 32	9 ● 33	14 ● 29	17 ● 29	16 14 ● ● 23 20			7	0	0	7	0	100	199	-99

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。